

負担金工事内訳（特別高圧）：記載例
【工事費負担金請求時用】

○工事概要

設備区分	項目	新設	建替・張替・取替	改造・改修	備考 (設備機器・材料の仕様、工事方法等)
架空線	支持物（鉄塔）	3基	1基	1基	新設 66kV A160 1回線 建替 66kV A330 2回線 仮鉄塔 66kV A330 1回線
	電線	0.9km	0.6km	0.7km	新設 A160 1回線 建替 A330 2回線 仮線路 A330 1回線
地中線	管路	km	km	km	
	マンホール	箇所	箇所	箇所	
	電力ケーブル	km	km	km	
変電設備	引出設備	回線	回線	回線	
	変圧器	台	台	台	
	調相設備	式	式	式	
	保護継電装置	式	式	式	
	転送遮断装置	1式	式	式	□□変電所
給電設備	システム改修	1式	式	式	○制御所 制御システム 風力発電所追加ソフトウェア改修
通信設備	通信装置	1式	式	式	簡易型光通信装置他
	自動検針装置	1式	式	式	
	光ケーブル	0.1km	km	km	SM4C
	メタルケーブル	km	km	km	
計量設備	計量器	1台	台	台	特別精密級、通信機能付
	計器用変成器	1台	台	台	VT66kV/110V CT600/5A
その他	調査測量費・用地 取得費・設計費等	—	—	—	

※1 現地の詳細な調査測量及び用地交渉等は工事着手後に実施するため、実際には工事概要および工事費用が変更となる場合があります。

※2 項目ごとの概算工事金額の提示を求める場合は、当社と守秘義務契約を締結していただく必要があります。

※2 項目ごとの概算工事金額の提示を求める場合は、秘密保持誓約書を提出していただく必要があります。

○概算工事金額

総額	〇〇. 〇百万円（消費税等相当額 〇. 〇百万円含む） （材料費等〇〇. 〇百万円、工費等〇〇. 〇百万円）
内訳	架空線工事 〇. 〇百万円（消費税等相当額除く） （材料費等〇〇. 〇百万円、工費等〇〇. 〇百万円） 地中線工事 〇. 〇百万円（ " ） （材料費等〇〇. 〇百万円、工費等〇〇. 〇百万円） 変電設備工事 〇. 〇百万円（ " ） （材料費等〇〇. 〇百万円、工費等〇〇. 〇百万円） 給電設備工事 〇. 〇百万円（ " ）

	(材料費等〇〇.〇百万円、工費等〇〇.〇百万円)
通信設備工事	〇.〇百万円(")
	(材料費等〇〇.〇百万円、工費等〇〇.〇百万円)
計量設備工事	〇.〇百万円(")
	(材料費等〇〇.〇百万円、工費等〇〇.〇百万円)
その他	〇.〇百万円(")
	(材料費等〇〇.〇百万円、工費等〇〇.〇百万円)

※3 【架空線/地中線】工事の内訳中、調査測量費、用地取得費及び設計費等その他の費用を材料費等に【〇%/〇円】、工費等に【〇%/〇円】含んでおります。

【内部注用（実際には削除）。】

- ※ 負担金工事内訳については、「様式」ではなく、各社の回答書類に組み込む形とし、【工事概要の表】および【概算工事金額の表】の対象項目について記載する。
- ※ ※2については、どちらかを記載する。
- ※ ※3を記載した場合、工事概要及び概算工事金額の内訳中、「その他」の項目は不要。
- ※ 工事概要及び概算工事金額の内訳中、「その他」の項目を記載した場合、※3の記載は不要。
- ※ 設備区分に複数の項目が含まれる場合は、材料費等と工費等の明示が必要（項目が1つの場合は、電力会社の調達価格や請負単価が明らかになってしまうため、明示不要）。

以上